

日本海軍、市丸海軍少将、書ヲ「フランクリンルーズベルト」君ニ致ス。

我今、我が戦ヒヨ終ルニ当リ、一言貴下ニ告グル所アラントス。

日本ガ「ペルリー」提督ノ下田入港ヲ機トシ、広ク世界ト国交ヲ結ブニ至リシヨリ約百年、此ノ間、日本八国歩難ヲ極メ、自ラ慾セザルニ拘ラズ、日清、日露、第一次欧州大戦、満州事変、支那事変ヲ経テ、不幸貴国ト干戈ヲ交フルニ至レリ。

之ヲ以テ日本ヲ目スルニ、或ハ好戦国民ヲ以テシ、或ハ黄禍ヲ以テ讒誣シ、或ハ以テ軍閥ノ專断トナス。思ハザルノ甚キモノト言ハザルベカラズ。

貴下ハ真珠湾ノ不意打ヲ以テ、対日戦争唯一宣伝資料トナスト雖モ、日本ヲシテ其ノ自滅ヨリ免ルルタメ、此ノ拳ニ出ヅル外ナキ窮境ニ迄追ヒ詰メタル諸種ノ情勢ハ、貴下ノ最モヨク熟知シアル所ト思考ス。

畏クモ日本天皇ハ、皇祖皇宗建国ノ大詔ニ明ナル如ク、養正（正義）、重暉（明智）、積慶（仁慈）ヲ三綱トスル、八紘一宇ノ文字ニヨリ表現セラルル皇謨ニ基キ、地球上ノアラユル人類ハ其ノ分ニ従ヒ、其ノ郷土ニ於テ、ソノ生ヲ享有セシメ、以テ恒久的世界平和ノ確立ヲ唯一念願トセラルルニ外ナラズ。

之、曾テハ「四方の海 皆はらからと思ふ世に など波風の立ちさわぐらむ」ナル明治天皇ノ御製（日露戦争中御製）ハ、貴下ノ叔父「テオドル・ルーズベルト」閣下ノ感嘆ヲ惹キタル所ニシテ、貴下モ亦、熟知ノ事実ナルベシ。

我等日本人ハ各階級アリ。各種ノ職業ニ従事スト雖モ、畢竟其ノ職業ヲ通ジ、コノ皇謨、即チ天業ヲ翼賛セントスルニ外ナラズ。

我等軍人亦、干戈ヲ以テ、天業恢弘ヲ奉承スルニ外ナラズ。

我等今、物量ヲ恃メル貴下空軍ノ爆撃及艦砲射撃ノ下、外形的ニハ退嬰ノ己ムナキニ至レルモ、精神的ニハ弥豊富ニシテ、心地益明朗ヲ覺工、歡喜ヲ禁ズル能ハザルモノアリ。

之、天業翼賛ノ信念ニ燃ユル日本臣民ノ共通ノ心理ナルモ、貴下及「チャーチル」君等ノ理解ニ苦ム所ナラン。

今茲ニ、卿等ノ精神的貧弱ヲ憐ミ、以下一言以テ少ク誨ユル所アラントス。

卿等ノナス所ヲ以テ見レバ、白人殊ニ「アングロ・サクソン」ヲ以テ世界ノ利益ヲ壟断セントシ、有色人種ヲ以テ、其ノ野望ノ前ニ奴隸化セントスルニ外ナラズ。

之ガ為、奸策ヲ以テ有色人種ヲ瞞着シ、所謂悪意ノ善政ヲ以テ、彼等ヲ喪心無力化セシメントス。

近世ニ至リ、日本ガ卿等ノ野望ニ抗シ、有色人種、殊ニ東洋民族ヲシテ、卿等ノ束縛ヨリ解放セント試ミルヤ、卿等ハ毫モ日本ノ真意ヲ理解セント努ムルコトナク、只管卿等ノ為ノ有害ナル存在トナシ、曾テノ友邦ヲ目スルニ仇敵野蛮人ヲ以テシ、公々然トシテ日本人種ノ絶滅ヲ呼号スルニ至ル。之、豈神意ニ叶フモノナランヤ。

大東亜戦争ニ依リ、所謂大東亜共栄圏ノ成ルヤ、所在各民族ハ、我が善政ヲ謳歌シ、卿等ガ今之ヲ破壊スルコトナクンバ、全世界ニ亘ル恒久的平和ノ招来、決シテ遠キニ非ズ。

卿等ハ既ニ充分ナル繁栄ニモ満足スルコトナク、数百年来ノ卿等ノ搾取ヨリ免レントスル是等憐ムベキ人類ノ希望ノ芽ヲ何ガ故ニ嫩葉ニ於テ摘ミ取ラントスルヤ。

只東洋ノ物ヲ東洋ニ歸スニ過ギザルニ非ズヤ。

卿等何スレゾ斯克ノ如ク貪慾ニシテ且ツ狭量ナル。

大東亜共栄圏ノ存在ハ、毫モ卿等ノ存在ヲ脅威セズ。却ッテ、世界平和ノ一翼トシテ、世界人類ノ安寧幸福ヲ保障スルモノニシテ、日本天皇ノ真意全ク此ノ外ニ出ヅルナキヲ理解スルノ雅量アランコトヲ希望シテ止マザルモノナリ。

翻ッテ欧州ノ事情ヲ觀察スルモ、又相互無理解ニ基ク人類鬭争ノ如何ニ悲惨ナルカヲ痛嘆セザルヲ得ズ。

今(ヒットラー) 総統ノ行動ノ是非ヲ云為スルヲ慎ムモ、彼ノ第二次欧州大戦開戦ノ原因ガ第一次大戦終結ニ際シ、ソノ開戦ノ責任ノ一切ヲ敗戦国独逸ニ歸シ、ソノ正当ナル存在ヲ極度ニ圧迫セントシタル卿等先輩ノ処置ニ対スル反撥ニ外ナラザリシヲ觀過セザルヲ要ス。

卿等ノ善戦ニヨリ、克ク「ヒットラー」 総統ヲトスヲ得ルトスルモ、如何ニシテ「スターリン」ヲ首領トスル「ソビエトロシヤ」 協調セントスルヤ。

凡ソ世界ヲ以テ強者ノ独專トナサントセバ、永久ニ鬭争ヲ繰リ返シ、遂ニ世界人類ニ安寧幸福ノ日ナカラ ン。

卿等今、世界制覇ノ野望一応將ニ成ラントス。卿等ノ得意思フベシ。然レドモ、君ガ先輩「ウイリソン」 大統領ハ、其ノ得意ノ絶頂ニ於テ失脚セリ。

願クバ本職言外ノ意ヲ汲ンデ其ノ轍ヲ踏ム勿レ。

市丸海軍少将



硫黄島で最後の突撃で散華した、市丸少将はその際に部下の大尉にこの手紙を託した。一つは英文もう一つは、本文の内容で部下は突進の際に懐中に手紙を収め突撃、なぜなら戦死者が将校の場合全身を米軍が調べる事を想定して、米軍側に届けるようにしたのです。

戦後手紙は米国の新聞社で掲載されて、米国内で反響を呼び、当時戦費捻出目的で硫黄島で星条旗を掲げる写真の切手が販売された。

この星条旗を掲げた、六人の内三人はこの地で戦死、米国民がこの切手を見た米国民は総額263億の国債を勝った。なんと終戦翌年の政府予算半分金額になったと、言います。切手の写真は世界一の高さのブロンズ像(費用85 萬ドル)として、アーリントン墓地の横に建立されました。

その費用も寄付で賄われ、彼の自決後に両軍の硫黄島の戦闘は(36)日続き米軍死傷者(28,686)人の記録が残っています。少将には一男三女の子供さんが残されていて、戦後かなり経過してから米国で市丸少将(後に中将)の軍刀が骨董店で、見つかり日本の放送局報道を通じ遺族に帰りました。我が国の将兵は武士道精神を尊ぶために、全員(21,149)人も玉砕されました。

明治 24/9/20 佐賀県東松浦郡久里村(唐津市)に生まれ、昭和 20/3/26 戦死 遺体は未発見